

市議会報

第2号 2009年8月発行
市議会だより編集委員会

6月・7月・8月の 議会行事報告

6月23日	第2回定例市議会初日
24日	第2回定例市議会2日目
25日	第2回定例市議会最終日
7月3日	再生計画検討委員会
7日	地域懇談会 清水沢
9日	地域懇談会 紅葉山
13日	地域懇談会 沼の沢
14日	地域懇談会 鹿の谷
16日	地域懇談会 議事堂
17日	常任委員会市内視察
21日	地域懇談会 南部
23日	再生計画検討委員会
24日	行政常任委員会
31日	北広島市議会議員チャリティウォーク
8月4日	道議会陳情要望（通学問題）
10日	再生計画検討委員会
25日	行政常任委員会

7月24日 行政常任委員会報告事項

（質問・答弁の内容については代表的なものを掲載します）

●地域再生推進室

（1）国の補助による地域活性化事業について

※報告 3年間の期限付きで夕張の観光案内、不動産の案内を中心とした業務を公署により「ネクスト夕張」に委託することとする。

※質問 観光から空き家、空き店舗の紹介など広範囲な業務となるが、行政との連携

はどうなるのか。

※答弁 行政としては、商工会議所等の機関と連携し、情報収集に努め業務協力の考えでいる。

※要望 最長3年間の補助事業であるが、夕張の再生にとっては重要な業務となり、補助がなくても業務継続していけるような形にしていきたい。

●建設課

（1）市営住宅再編など移転協力者への使用料減免要綱について

※報告 移転協力者には新しく入居する住宅の使用料を3年から7年の幅で減免し、現在の家賃と比較して負担が大きくなるよう考えている。

※要望 移転しやすい環境づくりが大切であり、新しく入居する住宅の情報をより多く出すこと。また移転者の要望を十分に把握して欲しい。

（2）シューパロダム建設事業について

※報告 旧鹿島地区にあったゴミ処分場がダム湖底に沈むことから、新たな場所（白金地区）に移転する。

※質問 ゴミ処分場の建設、管理はどの機関が当たるのか。

※答弁 ダム管理と合わせて国の事業として行う。

※要望 汚水の流出など心配な点もあり、市としてもそれらの情報を事業者と十分に連携し、チェック体制を強化して欲しい。

●教育委員会

（1）外国語指導助手の採用について

※報告 8月から外国語指導助手を一人、一年契約で迎える。

※質問 この採用は、2011年度からの

小学校英語教育のためとも言われているが。
※答弁 小学校英語教育は、前倒しで2009年から徐々に進める。指導助手は、その補助的役割も担う。

※要望 例えば英語教育など、小・中・高の連携した特色ある夕張らしい一校化教育を再生計画に盛り込んで欲しい。

（2）学校の統合について

※質問 中学校の統合の正式決定時期は。

※答弁 関係課題を整理しており、それが整いつつ行いたい。

※要望 中学校に関しては、閉校準備も進められており、9月議会の条例化で行うべきと考える。

●総務課

（1）職員給与の改善について

※報告 これまで基本給で30%、手当で2ヶ月を削減してきたが、職員の確保が図れなく、このままでは市民生活を維持することが困難となってきた。全国最低の給与水準（再建計画の基本方針）の範囲内で年末手当の1ヶ月復元の処遇改善を図りたい。

※質問 再建計画上改善には限界があるが、その他の改善は考えていないのか。

※答弁 協議課題としては検討してきたが、当面全国最低の中でこの改善策を示した。

※要望 行政の説明会でも市民から職員の待遇改善の声が多かったが、多くの懸案事項の一つとして市民の理解と納得を得るよう努力して欲しい。

※答弁 8月号の広報で、その必要性を市民に周知したい。また市民からの意見には十分な説明を行い理解を得るように対応し、9月議会に提案したい。

行政常任委員会が
9月8日に開かれます
是非傍聴してください

夕張市議会再生計画検討委員会主催

【地域懇談会】 のまとめ

夕張市議会として初めての地域懇談会（夕張市議会再生計画検討委員会主催）を、去る7月7日から21日にかけて、計6会場で266人の参加を頂き開催いたしました。

再建計画策定後、丸2年が経過し、市民の皆様からも今回の懇談会を通じ、今後の再生計画に関する質問や教育、病院、住宅等々、日頃から皆様が感じている課題、要望事項など、それぞれの地域（会場）において率直なご意見ご要望を伺えたと感じております。

尚、今回の懇談会において、回答できなかった検討課題や主な質疑、意見、要望は次の通りです。

◎市立診療所について

■質問 ○改築（新築）は必要か。○建設場所は市の中心部に。○診察してくれないのではいけないのではないかと。○診療科目は今のままでいいのか。

■議会の考え 市立診療所への20年光熱水費などの補助金は2643万円。21年は負担金として1211万円とした。改築（新築）しなければ毎年負担金が必要となる。建設費を比較すると、現在の建物を大規模改修した場合は約8億4千万円。ベット数19床、老健40床、診療科目、使用面積など現在の診療所と同規模で算出した改築（新築）の場合は約9億3千万円となる。改築（新築）に向けて今後必要とされるベット数が19床必要なのか、診療科目、老健施設、建設場所など数々の課題があり、夕張市立診療所等改築検討委員会や市民の意見を聞きながら、市民が安心できる病院づくりに向けて議会として取り組んでいきたい。

◎住宅問題について

■質問 市営住宅が多くあるのに、どうして入居させないのか。

■議会の考え 市営住宅も国の住宅法の下で運営されている。住宅法では低所得者が安定して住居を確保できることを目的としている。一定以上の所得がある人は入居できないことになっている。

また多額な修繕費用を要する住宅にも現状では入居できていない。その対策として

①みなし特定公共賃貸住宅（みなし特公賃住宅）の指定件数を増やし、一定額以上の所得がある人でも入居を可能にして、要望に応えられるよう行政に働きかけていく。
②市職員住宅の空き住宅の活用や、老朽住宅を取り壊すことにより宅地の利用度を高めるよう進めている。
③再生計画に新たな住宅建設もできるよう、行政と一体となり進めていき、マチの集約化を進めていきたいと考えている。

◎小中学校統合問題について

■質問 小学校一校化の問題だが、スクールバスが路線バスに変更になったことが不安である。子供の命をきちっと守ってもらえること、低学年が長時間バスに乗ることについて、メンタル面のフォローがないと親は安心できない。子供がきちんと通える方法をとってほしい。

本当は北と南に1校残してほしいと言うのが本音である。

■議会の考え 再建計画の中では、一校化については交通問題も含めて19年中に決めていくこととなっており、教育委員会は

論議を経て一校化と言う方向性を示した。議会にも提案があり議会も原則異論がなかったもので、具体的に進めているところ。教育委員会では通学方法は今のところ、路線バスということで考えている。お年寄りを含めて交通手段も増える中で、子供たちも一緒に通わせようとしている。そうなった時にバス停問題も含めて、通学距離・時間の長さから子供たちをどうカバーできるのか。この辺を議会としても十分配慮していかないと、親、本人、先生方含めて不安になるようでは困る。今後ともよりよいあり方についてご意見を頂きたい。しっかりと受け止め、行政と協議していく。

※以下は懇談会でお答えできなかった質問です

■質問 給食施設、中学校改修は合わせて、道、国の補助と市の負担はどのくらいなのか。

■答え 20年度、21年度で支出した中学校の改修工事に係る経費は6億7168万5千円で、そのうち国庫補助は3億1359万4千円、過疎債が3億4910万円、復興再建基金から335万1千円。市の一般財源からの支出は564万円。

◎市外からの通勤職員について

該当者は12人。財政再建計画策定にあたり、「居住権の自由」を尊重しつつ通勤手当の支給方法を改めている。改定後は居住地や通勤距離に関わらず市内区域内のみ支給している。

第3回定例市議会が次の予定で開催されます

9月15日（火）初日

16日（水）2日目

29日（火）3日目

※日程が変更になる場合があります。

お問い合わせは議会事務局へ。電話 52-3172